



広島で学んで良かったと思える
 広島で学んでみたいと思われる

日本一の教育県の実現

Making Hiroshima the "foremost prefecture for education in Japan"



授業づくり

カリキュラムの質的向上

学科等の特色を生かしたカリキュラムの開発

高等学校の生徒の資質・能力の向上に向けて、学校全体で組織的に、学科等の特色を生かしたカリキュラムを開発します。

児童生徒の「主体的な学び」を促すカリキュラムの開発

小学校と中学校が連携して、プロジェクト型学習の考え方を取り入れ、総合的な学習の時間や地域・産業界と連携したキャリア教育等において、探究的な学習の質の向上に係るカリキュラムを開発します。

教員研修の更なる充実

児童生徒をファシリテートする力

子供たちが自ら考え、創意工夫して表現するなど、主体的に学ぶための「かじとり」ができる力を身に付けます。

ICTを活用する力

ICTを効果的に活用する授業モデルの普及を図るとともに、教員のICTを活用した授業力の向上に取り組みます。

カリキュラム・マネジメントの充実

学校総体でカリキュラム・マネジメントの効果的・効率的な推進を図るため、全教職員の資質・能力の向上に取り組みます。



主体的な学びの実現に向け大切にしたい！ 子供たち一人一人の状況に応じた「個別最適な学び」

現在、県内4地域において、個別最適な学びに関する実証研究を実施しています。

例えば、廿日市市立宮園小学校においては、「自分で考えて動く子ども」の育成を目指し、一斉授業の形態だけでなく、子供たちが、学習進度・能力・関心等に応じて、学習計画表を活用し、自分のペースで、教科書、プリント、AI型タブレット教材などの中から自分で学習方法を選ぶというように、自分に最適な学びの方法を選択し、決定できる機会を提供する学びについての研究を進めています。

自分に最適な方法やペースで学習を進めるからこそ、自然に教え合う場面も見られます！

自分に最適な学びの方法を選択・決定して進める算数の授業について(肯定的評価)

主体性	これまでより自分から進んで取り組むことができましたか？	89%
理解度	これまでより分かりやすかったですか？	84%
満足度	こういう授業を今後も続けたいですか？	93%

実証研究の取組の詳細はこちら→



児童アンケート結果(廿日市市立宮園小)から

専門高等学校アップデート

New

「ビジネス探究プログラム」の拡大

多様化する社会に対応できる主体的・協働的・創造的な力を身に付けた未来のリーダーを育成するために、令和2年度に商業高等学校4校で始めたプロジェクト学習で得た成果を他の専門学科(農業、工業等)にも波及させます。

New

デジタル化に対応した産業教育設備の整備

Society5.0(※)時代における産業を支える職業人を育成するため、県立の専門高等学校等に、3Dプリンターや自動旋盤などを新たに整備します。国の「スマート専門高校」実現に係る国庫補助等を活用し、約27億円を予算化しています。

※[Society5.0]とは、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

■金属造形3Dプリンタ
 コンピュータで入力された数値をもとに、金属等の加工品を作成する産業用装置



イメージ図:令和2年度 文部科学関係第3次補正予算事業別資料集より

教育環境の整備

New

中山間地域等の遠隔教育の推進

学校規模や地理的条件に捉われず、質の高い学びが受けられる環境を整備します。

中山間地域等に位置する県立高等学校にデジタル技術を活用した遠隔教育システムを整備します。地域を越えて、専門性の高い授業や多様な人々との交流学習など、質の高い学びを提供するための新たな試みです。

教科等の学びを深める遠隔教育

協働して学習に取り組んだり、多様な意見や考え方にふれたりする機会の充実

学校と専門家をつなぐ遠隔教育

遠方にある専門家の講義を聞くなど、専門的な知識にふれる機会の充実

中山間地域の学校と都市部の学校からなるグループをつくり、遠隔教育を進めます。

中山間地域校のメリット

中山間

交流により地域の魅力を再発見し、地域に愛着が持てるようになる。

都市部校のメリット

都市部

普段ふれることの少ない文化などを知り、視野を広げることができる。

New

不登校支援センター設置

県教育委員会が公立小中学校を訪問し、スペシャルサポートルームの設置・運営を支援する不登校支援センターを設置します。

このほか

- 新型コロナウイルス感染症対応事業
- 「遊び 学び 育つひろしまっ子!」推進プロジェクト
- 学びのセーフティネット構築事業
- 特別支援教育ビジョン推進事業
 (廿日市特別支援学校の教室不足解消のため、廿日市西高校の余裕教室を活用等)
- 「GIGAスクール構想の実現」に向けたICT基盤整備事業
 など多くの事業を実施していきます。